

第43期
事業報告書

平成30年4月1日から
平成31年3月31日まで

一般社団法人 環境創造研究センター
愛知県名古屋市東区東桜二丁目4番1号

第 43 期〔平成 30 年度〕事業報告

当センターは、昭和 51 年に愛知県知事認可法人として、地域における自然・社会の複合的環境に関する科学的研究を行うとともに、その体系化の確立と普及を図り、望ましい人間環境の保全と創造に寄与することを目的として設立され、その後、平成 25 年に一般社団法人へと移行し、丸 6 年が経過しました。

また、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、平成 15 年に愛知県知事より「愛知県地球温暖化防止活動推進センター」の指定、その後、平成 20 年、25 年に再指定、さらに、平成 30 年 3 月に向こう 5 カ年の指定を受け、地球温暖化に関わる情報の発信や地球温暖化防止活動の支援など、愛知県における地球温暖化防止活動の拠点としても役割を担い、現在に至っております。

さらに、平成 30 年 4 月に環境省中部地方環境事務所より、「中部環境パートナーシップオフィス(EPO 中部) 運營業務」の請負団体として採択され、現在、中部管内の環境活動や ESD・SDGs に関わる活動に取り組む方々を支援する業務も鋭意実施中です。

平成 30 年度[第 43 期]においても、公益目的事業としての機関誌「環境」の発行や講演会・セミナー等の開催を通して、環境に関する情報を発信することで、地域住民や事業者等に対し、環境に関する今日的テーマの普及・啓発を推進することに努めてきました。また、地球温暖化防止活動の拠点として、県内の住民や事業者の地球温暖化防止活動の活性化に向けた各種事業を実施することができました。

一方、受託事業・補助事業等については、「EPO 中部運營業務」の受託や、市町村の委託事業の増加に伴い、一般社団に移行後のここ数年に比べ、全体の事業規模(金額)が倍増しました。

これからも、公益目的事業、及び受託事業等の更なる実施に努めると共に、持続可能な地域社会の構築を目指し、環境の保全と創造のため、住民や事業者に向けた地道な普及啓発活動を継続的に行うとともに、住民及び事業者と行政の連携、協働による取り組みの推進役としての役割を担ってまいります。

I. 事業の実施状況

(1) 公益目的事業1 (機関誌「環境」の発行【定款第4条第1項の(5)】)

項目	事業内容 (敬称略)
会員の状況	正会員数46名(個人:42名, 法人:4名) 機関誌「環境」定期購読者9名 (平成31年4月1日現在)
機関誌等の発行	<p>『環境』147号 平成30年6月26日発行(発行部数:400部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄稿 『『世界空気の日』を!』に寄せて (名古屋産業大学大学院 非常勤講師 児玉剛則) ・特集 <ul style="list-style-type: none"> <空気は誰のもの?～フロン対策から世界「空気の日」を考える～①> <ul style="list-style-type: none"> 1. 「空気の日」が意味すること (名古屋大学名誉教授 岩坂泰信) 2. 現代文明を表す「人新世」～フロン問題を教訓として～ (中部大学中部高等学術研究所 所長 福井弘道) 3. トークセッション <ul style="list-style-type: none"> <「空気」の存在を意識する> パネリスト:高田克宏 (勝興寺文化財保存・活用事業団専務理事・学芸員) パネリスト:岩坂泰信(名古屋大学 名誉教授) パネリスト:福井弘道(中部大学中部高等学術研究所 所長) パネリスト:児玉剛則(名古屋産業大学大学院 非常勤講師) コーディネーター:原 理史(中部大学中部高等学術研究所) ・身近な自然を楽しむ～夏-秋 「石鯛の若魚サンバソウを釣る」(釣り人 工藤秀和) ・愛知県環境部重点施策 <ul style="list-style-type: none"> <平成30年度 愛知県環境部の主要事業> <p>『環境』148号 平成30年11月27日発行(発行部数:400部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演記録 <ul style="list-style-type: none"> 1. 「愛知県地球温暖化防止活動推進センターの今後の取組み」 ～センター長就任にあたって～ (愛知県地球温暖化防止活動推進センター長 福井弘道) 2. 15年間の振り返りとパリ協定へ向けた今後の課題 (愛知県地球温暖化防止活動推進センター 次長 児玉剛則) ・講演記録 オゾン破壊は止まった～シナリオの裏に潜む危険性と将来展望～ (名古屋大学名誉教授 岩坂泰信) ・身近な自然を楽しむ～冬 「冬の風物詩ワカサギ(公魚)釣り」(釣り人 工藤秀和) ・講演記録 地域気候政策の国際的潮流 ～世界首長誓約 Global Covenant of Mayors～ (名古屋大学大学院環境学研究科付属 持続的共発展教育センター 特任准教授 杉山範子) ・シリーズ:愛知県の環境ガバナンスをふりかえる(その1) <ul style="list-style-type: none"> 1. シリーズを始めるにあたって (一般社団法人環境創造研究センター 理事長 福井弘道) 2. 愛・地球博(2005年日本国際博覧会)を語る ～伊藤達雄先生のお話を受けて～ (愛知県地球温暖化防止活動推進センター 次長 児玉剛則)

『環境』149号 平成31年3月28日発行（発行部数：400部）

・特集

＜空気は誰のもの？～フロン対策から世界「空気の日」を考える～②＞

1. Air is Our Life ～空気は生命～

（韓国建国大学校 教授 Yoon Shin Kim）

2. 「空気中に捨てる」を考える

（名古屋大学 名誉教授 岩坂泰信）

3. トークセッション

＜拡がりつづける空気＞

パネリスト：Yoon Shin Kim（韓国建国大学校 教授）

パネリスト：岩坂泰信（名古屋大学 名誉教授）

パネリスト：福井弘道（中部大学中部高等学術研究所 所長）

パネリスト：児玉剛則（名古屋産業大学大学院 非常勤講師）

コーディネーター：原 理史（中部大学中部高等学術研究所）

・身近な自然を楽しむー春～初夏

「グレの団子釣り」（釣り人 工藤秀和）

・講演記録

～改めて空気の大切さを考える～空気と皮膚

（山梨大学医学部皮膚科学教室 教授 川村龍吉）

・講演記録

意見交換会 「『富士山』と『空気』について考える」

・シリーズ：愛知県の環境ガバナンスをふりかえる（その2）

「東海豪雨」をふりかえる

（愛知県地球温暖化防止活動推進センター 次長 児玉剛則）

(2) 公益目的事業2 (講演会及びセミナー等の開催) 【定款第4条第1項の(4)】

項目	事業内容 (敬称略)
講演会・セミナー	<p><環境創造・環境共生講演会> ○開催：平成30年6月15日 会場：ウインクあいち (参加者45名) 講師 名古屋大学 大学院環境学研究科 特任准教授 杉山範子氏 演題「地域気候政策の国際的潮流 ～世界首長誓約 Global Covenant Mayors～」</p> <p>○開催：平成30年12月6日 会場：なごや文化のみち 百花百草 (参加者48名) <講演1> 講師 名古屋大学 名誉教授 岩坂泰信氏 演題 「世界『空気の日』の目指すも」 <講演2> 講師 中国科学院大気物理研究所主任研究員・教授 チェン・ビン氏 演題 「中国における大気問題の今・昔」 <講演3> 講師 韓国建国大学校 教授 キム・ヨンシン氏 演題 「韓国における『空気の日』について」 <ミニコンサート> バイオリン：村越久美子、クラリネット：水野沙織、ピアノ：碓大地 <トークセッション> 『日・中・韓』で考える地球大気の今後 パネリスト：名古屋大学 名誉教授 岩坂泰信氏 中国科学院大気物理研究所 教授 チェン・ビン氏 韓国建国大学校 教授 キム・ヨンシン氏 コーディネーター：中部大学中部高等学術研究所所長 福井弘道氏</p> <p>○開催：平成31年3月19日 会場：名古屋都市センター (参加者35名) <講演1> 講師 愛知県環境部自然環境課 道端亜貴美氏 演題 あいちの生物多様性のモニタリングについて <講演2> 講師 ESRI ジャパン株式会社 名和裕司氏 演題 環境GISの最新情報</p> <p><愛知県地球温暖化防止活動推進センター講演会> ○開催：平成30年7月20日 会場：ウインクあいち (参加者36名) 主催：愛知県地球温暖化防止活動推進センター (一般社団法人 環境創造研究センター) テーマ：15年間の振り返りとパリ協定へ向けた今度の取組み 話題提供 伊藤達雄氏 (三重大学 名誉教授) 福井弘道氏 (愛知県地球温暖化防止活動推進センター長) 児玉剛則氏 (愛知県地球温暖化防止活動推進センター次長)</p> <p><その他講演会・セミナーI (推進員セミナー関連) > ○開催：平成30年9月13日 会場：ウインクあいち (参加者45名) <第1部> 話題提供1：「あいち地球温暖化防止戦略2030」 講師：愛知県環境部地球温暖化対策課 多賀 潤氏</p>

話題提供 2:「第5次環境基本計画と平成30年度版環境白書」
講師:環境省中部地方環境事務所環境対策課 溝手康人氏
<第2部>
「ガラスの地球を救え!」上映試写会

○開催:平成31年2月4日
会場:名古屋都市センター(参加者47名)
話題提供:暮らしとエネルギー～電気を賢く上手に使うには?～
講師:中部電力㈱販売カンパニーお客様営業部 部長 安原文美氏

<その他講演会・セミナーⅡ(フロン対策セミナー関連)>

○開催:平成30年6月2日
会場:山形県朝日町 Asahi 自然観「ロッジしらくら」(参加者43名)
テーマ:全国フロンリレーセミナーin山形県朝日町
「改めて『空気の大切さ』を考える」
<歓迎の挨拶> 朝日町 町長 鈴木浩幸氏
<話題1>
講師 名古屋大学 名誉教授 岩坂泰信氏
演題 「世界『空気の日』の目指すもの」
<話題2>
講師 中部大学中部高等学術研究所 所長 福井弘道氏
演題 「フロン問題の成功体験に学ぶ」
<話題3>
講師 名古屋産業大学大学院 非常勤講師 児玉剛則氏
演題 「暮らしの中のフロン対策」
<意見交換会>
「朝日町と『空気の日』について考える」
ナビゲーター:中部大学中部高等学術研究所 原 理史氏

○開催:平成30年9月8日
会場:山梨県富士吉田市 明見湖はず池体験工房(参加者45名)
テーマ:全国フロンリレーセミナーin山梨県富士吉田市
「改めて『空気の大切さ』を考える」
<開会の挨拶> 富士吉田市 市長 堀内 茂氏
<話題1>
講師 名古屋大学 名誉教授 岩坂泰信氏
演題 「世界『空気の日』の目指すもの」
<話題2>
講師 中部大学中部高等学術研究所 所長 福井弘道氏
演題 「フロン問題の成功体験に学ぶ」
<話題3>
講師 名古屋産業大学大学院 非常勤講師 児玉剛則氏
演題 「改めて、空気を知る」
<話題4>
講師 山梨大学医学部皮膚科学教室 教授 川村龍吉氏
演題 「空気と皮膚」
<意見交換会>
「『富士山』と『空気』について考える」
ナビゲーター:中部大学中部高等学術研究所 原 理史氏

(3) その他事業(受託事業・補助事業など)【定款第4条第1項の(1)、(2)、(3)】

<受託事業>

受託先	件名	内容
環境省中部 地方環境事 務所	平成30年度 中部環境パート ナーシップオフィス(EPO 中部) 運営業務	環境省「EPO 中部」の管理運営を行う業務であり、主に以下の事業を実施。 ①事務所管理運営等基本業務、②運営会議設置開催業務、③協働取組業務、④中部ESD活動支援センター運営業務、⑤同時解決事業支援業務、⑥ESD推進実践拠点支援業務、⑦SDGs環境教育支援業務
愛知県	平成30年度 地球温暖化防 止活動普及啓発事業(*)	愛知県の地球温暖化対策を強化・推進し、県民運動「あいちCOOL CHOICE」を盛り上げることを目指し、以下の普及啓発事業を実施。 ①地球温暖化防止活動推進員の支援、②地球温暖化対策地域協議会の支援、③低炭素人材バンク構築及びスキルアップセミナーの開催
愛知県	地球温暖化対策普及啓発項目 検証・算定業務(*)	地球温暖化対策に関し、県民に対する普及啓発すべき項目を検証し、主要機器のCO2及び光熱費削減量の算定、さらに、機器別の詳細のCO2及び光熱費削減量の算定を行い、削減実践シートを作成。
愛知県	平成30年度 環境学習コー ディネート業務等委託	環境学習における講師、活動場所等の提供を受けたい主体とこれらを提供したい主体との円滑なマッチングを行い、各主体が連携・協働した環境学習を実施するため、環境学習の相談業務5件、コーディネート業務20件を実施。【EPO 外部資金事業】
豊田市	平成30年度 豊田市スマー トハウス普及促進業務	環境省の「地方公共団体と連携したCO2排出削減促進事業」を活用した業務委託であり、豊田市におけるスマートハウスの普及促進を目指し、以下の事業を実施。 ①うちエコ診断の実施(30件)、②モニター制度の活用(80件)、③啓発物(パンフレット1万部)の作成、④一般市民向けセミナーの実施、⑤イベントでの普及啓発活動の実施
日進市	平成30年度 にっしん省エ ネ倶楽部「COOL CHOICE 事業」 業務	環境省の「地方公共団体と連携したCO2排出削減促進事業」を活用した業務委託であり、日進市の「省エネ倶楽部活動」として、低炭素地域づくりに向けて以下の事業を実施。 ①ウォームシェア普及啓発「鍋フェア」実施、②子ども省エネ教室、③高校生ESDワークショップ、及び日進市子ども会大会へのブース出展、④「定期エコライフ検診」の構築とモデル実施、⑤住まいとクルマの省エネキャンペーン、⑥新規転入者への普及啓発、⑦地球温暖化対策リーダー(未来への語り部)育成講座

受託先	件名	内容
長久手市	平成 30 年度 「ながくて COOL CHOICE 普及啓発事業」 支援業務	<p>環境省の「地方公共団体と連携した CO2 排出削減促進事業」を活用した業務委託であり、低炭素地域づくりに向けて以下の事業を実施。</p> <p>①子ども省エネ教室 (X 博士による COOL CHOICE の〇×クイズ)、②市民省エネ連続セミナーの開催、③市民まつりブース出展、④クールシェア・ウォームシェアキャンペーン、⑤エコモビキャンペーン、⑥長久手 COOL CHOICE 情報マップ作成 WS の実施</p>
名古屋大学 持続的共発展教育研究センター	「世界首長誓約/日本 in 東海地域」開催に係る業務	<p>「世界首長誓約/日本」の東海 4 県の市町村への説明会を、「世界首長誓約/日本」セミナー in 東海地域～エネルギーの地産地消で地域創生&「パリ協定」貢献～としてセミナーを開催し、報告書を作成。</p>
中部電力(株)	SDG s に関する企業の取組み調査業務	<p>2015 年に国連で採択された「持続可能な開発目標 (SDG s)」については、企業がビジネスとしてどのように取組んでいくかが国内外で大きな関心事項になっている。</p> <p>そこで、SDG s の動向を調査し、企業の事業との関係を整理し、先進企業の取組み状況を調査するとともに、企業の SDG s への取組みの方向性を検討。</p>
中部電力(株) 名古屋支店	平成 30 年度 エネルギー関連施設見学企画・運營業務	<p>学生や市民に、エネルギー全般について共に考える場を提供することを目的に、エネルギー関連施設の見学会の企画・運営を実施。</p> <p>具体的には、学生対象に「川越火力発電所&新青山高原風力発電所」見学会 (1 回)、「浜岡原子力発電所」見学会 (1 回)、推進員対象に「碧南発電所&豊橋バイオマス利活用センター」見学会 (1 回)、センター会員対象に「名城変電所、名古屋給電制御所、浸雨水貯留施設&減災館」見学会 (1 回) を実施。</p>
東邦ガス(株)	平成 30 年度 ビオトープ活用ワークショップ運營業務	<p>東邦ガス「ガスエネルギー館」の敷地に整備されたビオトープ広場を活用し、ビオトープワークショップを開催運営 (1 回)。</p> <p>「親子で遊んで学ぼう! ビオトープ」は、なごや環境大学の一環として、親子を対象として 3 月の春休みに実施。</p>
木曾岬メガソーラ(株)	平成 30 年度 木曾岬メガソーラ環境学習支援業務	<p>木曾岬メガソーラー(株)が木曾岬干拓地に建設したメガソーラー発電所は敷地面積 78ha (ナゴヤドーム約 20 個分) にパネル約 20 万枚を張り詰め、1 年間で一般家庭 14,500 世帯分の電力を発電。</p> <p>同発電所を安定的に運営維持するうえで、地域の理解・協力が必要不可欠であり、地元の愛知県弥富市及び三重県木曾岬町、桑名市長島町の小・中学校に対する環境学習の支援を実施。</p>

受託先	件名	内容
(独) 環境保全再生機構	「平成 31 年度地球環境基金助成金説明会」の開催に係る業務	中部地域における「平成 31 年度地球環境基金助成金説明会」をウインクあいちで開催し、SDGs に関する講演を併せて実施。【EPO 外部資金事業】
東京海上日動(株)/日本 NPO センター	「平成 30 年度グリーンギフト地球元気プログラム」運営支援業務	東京海上日動(株)が CSR 事業として実施している「グリーンギフト地球元気プログラム事業」の運営支援を実施。中部地域では、愛知県、長野県、福井県の 3 事業の NPO 等を支援。【EPO 外部資金事業】
環境省/(一社) 環境パートナーシップ会議 (GEOC)	「SDGs 人材育成研修」に関するニーズ調査業務	「社会人を対象にした地域の課題発見等に関する研修事業」に関し、人材を派遣する側としての企業のニーズ調査、さらに、研修生を受け入れ、研修を実施する側としての NPO 等のニーズ調査をヒアリング等で実施。【EPO 外部資金事業】

<補助事業>

補助元	件名	内容
環境省/全国センター	平成 30 年度における地球温暖化防止活動促進事業<基盤形成事業> (愛知県) (*)	温対法に基づき、地域における地球温暖化防止活動の基盤を形成し、低炭素社会の構築を目指す業務。 具体的には、①「地球温暖化対策に関する啓発・広報」、②「地球温暖化防止活動推進員の支援」、③「民間団体等の実態把握と支援」、④「温室効果ガスに関する相談・助言等」、⑤「排出実態の把握・分析」、⑥「連絡調整会議の設置と開催運営」を実施。
経済産業省/環境共生イニシアチブ	平成 30 年度 省エネルギー相談地域プラットフォーム構築事業	西三河地域 5 市に省エネ相談地域プラットフォームを構築し、11 事業所の省エネ相談に対応。省エネ相談では、省エネ診断の実施や運用改善・設備更新など、省エネ活動の PDCA サイクルの実施に向け、取組みへの誘導・支援を実施。 具体的には、相談窓口の設置・運営、広報活動、省エネ相談の実施、中小企業省エネ実践セミナーの開催 (全 3 回)、社員研修等の実施、省エネ診断の案内や実施事例の紹介等を実施。

<助成事業>

助成元	件 名	内 容
三井住友信託銀行	平成 30 年度 公益信託 地球環境保全フロン対策基金助成事業	<p>5年目の採択を受けたフロン対策に関わる普及啓発事業。最終年度における助成事業の活動テーマは、「改めて「空気の大切さ」を考える～」と設定。</p> <p>具体的には、「『日・中・韓』国際シンポジウム」を岩坂泰信先生（日本）、チェン・ビン先生(中国)、キム・ヨーンシン先生（韓国）をお迎えし、なごや文化のみち「百花百草」で開催。また、「全国フロンリレーセミナー」として、「空気神社」有し「空気の日」を制定している山形県朝日町と「富士山」を有し「Good Air City」に選定された山梨県富士吉田市の2か所でセミナーを実施。</p>
(独) 環境保全再生機構	平成 30 年度 地球環境基金助成事業	<p>調査研究名～「COOL CHOICE」普及啓発に資する「ナッジ」の応用手法の研究と適用～として採択。</p> <p>3か年計画の内、初年度の平成 30 年度は、以下の事項を実施。</p> <p>①過去の地球温暖化緩和の普及啓発に対し、ナッジ観点に基づく手法レビューと分析評価を実施（中部7 県地域センター×2 事例）</p> <p>②「中部 COOL CHOICE 普及啓発促進研究会」（中部ナッジ研究会）の構築と開催(2 回)</p> <p>③各地域センターの「ナッジ活用」を想定した事業についてアンケート調査等を実施し、現状を把握</p>

備考) (*) 印は、愛知県温暖化防止活動推進センターの指定に伴う事業。

Ⅱ. 総会・役員会等の開催状況【定款第4章、第6章】

項目	開催状況
総会の開催	<p><総会></p> <p>第84回通常総会〔平成30年度前期〕 開催：平成30年6月15日 会場：ウインクあいち 議案：平成29年度事業報告案について 平成29年度決算報告案について その他 出席者：会員46名のうち25名（うち委任状：14名）</p> <p>第85回通常総会〔平成30年度後期〕 開催：平成31年3月19日 会場：ウインクあいち 議案：平成31年度事業計画案について 平成31年度収支予算案について その他 出席者：会員46名のうち25名（うち委任状：16名）</p>
役員会の開催	<p><理事会（役員会）></p> <p>平成30年度前期理事会（出席者：5名/6名） 開催：平成30年5月15日 会場：ウインクあいち 議案：平成30年度（前期）通常総会の開催について 平成29年度事業報告案について 平成29年度決算報告案について その他</p> <p>平成30年度後期理事会（出席者：4名/6名） 開催：平成31年2月15日 会場：ウインクあいち 議案：平成30年度（後期）通常総会の開催について 平成31年度事業計画案について 平成31年度収支予算案について その他</p>
企画委員会の開催	<p><企画委員会></p> <p>平成30年度第1回企画委員会（出席者：5名） 開催：平成31年2月1日 会場：名古屋都市センター 内容：意見交換</p> <p>（1）平成30年度の業務実施状況について （2）平成31年度の業務予測について （3）「EPO中部運營業務」について ～設立後12年（4期）経過、 第5期（平成30年度～令和2年度）の3か年予定～ （4）今後の運営方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EPO中部（中部ESD活動支援センター） （環境省中部地方環境事務所） ・愛知県地球温暖化防止活動推進センター （愛知県環境局）